

平成25年度鳥取県福祉研究学会事業計画

1 事業運営方針

現代の社会福祉施策が始まって以来60余年が経過し、急速な少子高齢社会の進展と相まった人口減少社会の到来、家族態様の変容等、社会状況等の変化に対応してその施策も変化してきている。社会福祉基礎構造改革に基づき社会福祉のあり方も、今までの理念を超えた大きな変革の時代を迎えている。

このような中で、市民を中心とした福祉フォーラムや学習会の開催など、市民から熱心に福祉のあり方を考える気運が高まってきているが、かつて経験しなかった社会構造の変化に伴う、新たな時代の新たなニーズへの対応は難しくなってくると考えられる。

また、福祉現場において、第一線を担ってきた団塊の世代を形成する役職員は引退し、現役時代に培ったノウハウをいかに社会継承するかも大きな課題である。

そこで、私たち福祉に関わる者が広く連携して、これからの福祉のあり方を研究し、研鑽し、お互いの資質向上を図るとともに、その持てるノウハウ等を共有し、更に発展させ、もって鳥取県域の福祉社会の発展向上を図る。

2 会務の運営

(1) 総会の開催

年1回：7月13日（土）

(2) 理事会の開催

年3回：4月23日（火）、7月13日（土）総会の前、2月22日（土）研究発表会の前

(3) 監事会の開催

年1回：4月15日（月）

(4) 審査委員会の開催

年1回：2月6日（木）

3 実施事業

(1) 総会・研究発表会の開催

① 総会

7月13日（土） 【内容】第6回研究発表会の受賞者の研究発表、事業計画の報告

② 研究発表会

2月22日（土） 【内容】講演会・研究発表会（全体会及び分科会）

(2) 授賞・推薦

① 学会奨励賞

研究発表の内容が優秀な者に学会奨励賞を授与する。（5部門）副賞：各2万円

② 県知事賞候補の推薦

研究発表の内容が最も優秀な者を県知事賞候補者として推薦する。

(3) 啓発広報

① 県社協メールニュース、機関紙「志あわせへ」、

② 福祉情報誌「HOTeye」への掲載

③ 募集要項の作成・配布（鳥取県、県社協等の主催する各種研修会で配布）

④ ホームページでの周知